第14回東大病院22世紀医療センター
産学連携メディカルフロンティアセミナー

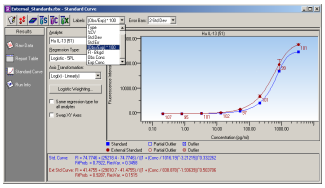
サイトカイン多項目同時測定テクノロジーの有効性

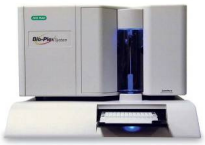
日時：2010年　12月　2日（木曜日）午後6:00～7:30
会場：東京大学医学部附属病院　中央診療棟Ⅱ　7F大会議室

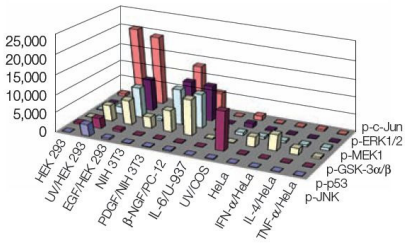
演者：大崎由佳

バイオ･ラッドラボラトリーズ株式会社　アプリケーションスペシャリスト

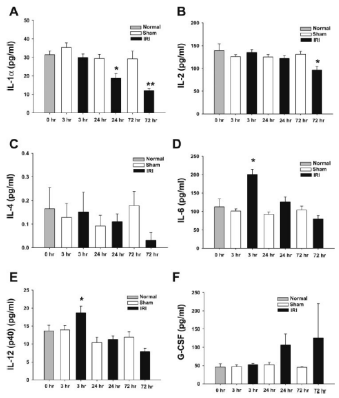
（要旨）
サスペンションアレイシステムは、100種類に色分けされた抗体付きビーズを用いることにより、マイクロプレート1ウェルから多項目のサイトカイン、リン酸化タンパク質、疾患関連因子等を同時に検出、定量することが可能なテクノロジーである。
この多項目同時測定という特徴は、サンプル量を極めて少なくできる事や、実験にかかる労力を低減させるだけでなく、バイオマーカー探索のためのツールとしても有効である。
研究テーマとして、サイトカイン測定（アレルギー）、バイオマーカー探索ツールのためのマルチプレックスサイトカイン解析（卵巣癌）、癌の種類による血管新生関連因子発現パターン解析、分子標的薬の事前効果判断マーカーの同定（抵抗性結腸直腸癌）などを実際の臨床研究の場で使用されている例をご紹介いたします。







Bio-Plex 6-plex phosphoprotein assay analysis.
Activation of phospho-JNK (■), p53 (■), GSK-3α/β (■), MEK1 (■), ERK1/2 (■), and c-Jun (■) was attenuated in HEK 293, NIH 3T3, PC-12, U-937, COS, and HeLa cells treated with different ligands or stress-related methods.



連絡先：東京大学医学部附属病院　22世紀医療センター
免疫細胞治療学（メディネット）講座　垣見和宏　内線：36590